

「北白川だより」 前期臨時号

平成 28 年 9 月 30 日

京都市立北白川小学校

校長 山崎 弥生

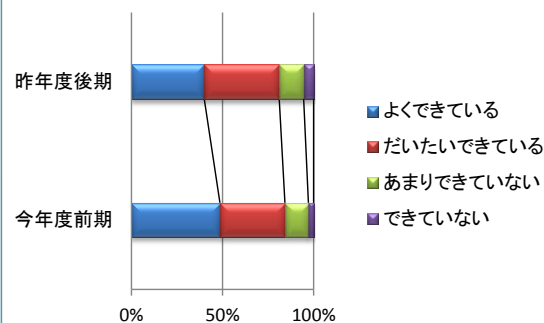
本号は、今年度前期の学校評価アンケートの結果をお知らせします。表面は、「生活面」について昨年度後期と比較した「表」を載せています。

生活面の設問は全 7 項目ありますが、特に、「こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている」と、今年度、新たに設けた「進んでそうじをすること」について、「グラフ」にしています。

表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。

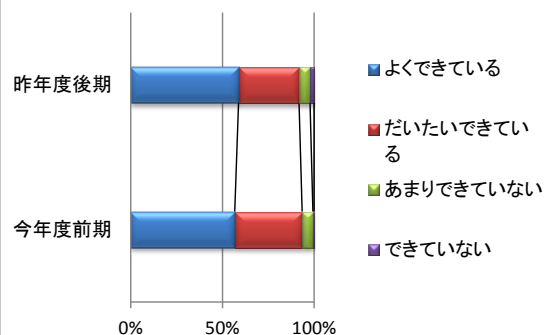
設問「こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている」に対して、約 8 割の子どもが「よくできている」「だいたいできている」と回答していることがわかります。

こまったことはせんせいやかぞくにそうだんしている。

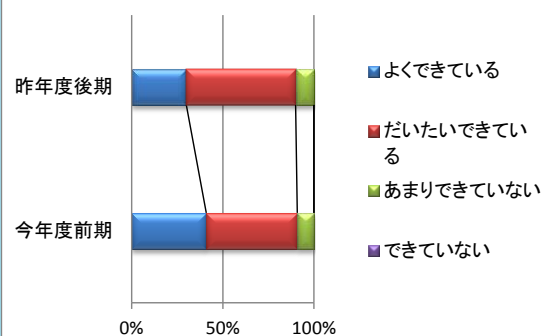


子どもたちを支える保護者・教職員は…

我が家では、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている。



子どもたちと会話する機会を積極的に設けている。



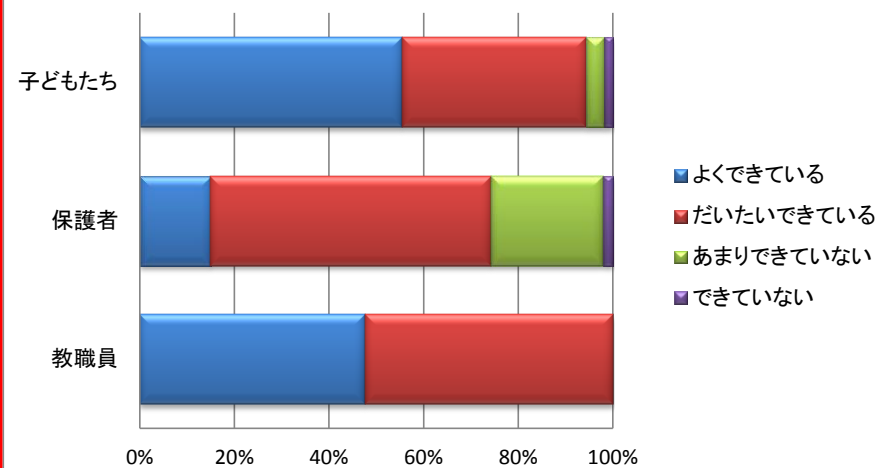
平成28年度 前期 学校評価アンケート <生活面> ※昨年度後期との比較																	
子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じぶんからすすんであいさつをしている。	今年度前期	62.1	34.4	2.5	1.1	我が家では、進んで挨拶するように声をかけている。	今年度前期	35.2	60.3	3.9	0.7	進んで挨拶ができるように働きかけている。	今年度前期	45.5	50.0	4.5	0.0
	昨年度後期	52.0	42.1	5.3	0.7		昨年度後期	34.4	57.5	7.5	0.6		昨年度後期	35.0	60.0	5.0	0.0
じぶんのきもちをこばでつたえることができています。	今年度前期	34.6	47.0	15.9	2.5	我が家では、子どもに自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように声をかけている。	今年度前期	26.1	63.2	10.1	0.7	自分の気持ちを正しい言葉で伝えるように働きかけている。	今年度前期	42.1	57.9	0.0	0.0
	昨年度後期	33.0	46.5	16.5	4.0		昨年度後期	25.3	65.9	8.1	0.6		昨年度後期	30.0	60.0	10.0	0.0
ともだちをたいせつにし、なかよくしている。	今年度前期	76.8	20.4	2.5	0.4	我が家では、友だちを大切にし、仲よくするように声をかけている。	今年度前期	56.4	42.7	1.0	0.0	友だちを大切にし、仲よくできる学級づくりに取り組んでいる。	今年度前期	55.6	44.4	0.0	0.0
	昨年度後期	69.7	27.6	2.3	0.3		昨年度後期	48.7	50.3	0.3	0.6		昨年度後期	25.0	75.0	0.0	0.0
こまったことは、せんせいやかぞくにそうだんしている。	今年度前期	48.6	35.6	13.0	2.8	我が家では、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている。	今年度前期	29.3	62.5	7.5	0.7	子どもたちと会話する機会を積極的に設けている。	今年度前期	40.9	50.0	9.1	0.0
	昨年度後期	39.1	42.4	13.2	5.3		昨年度後期	25.0	63.6	10.1	1.3		昨年度後期	30.0	60.0	10.0	0.0
ちこくをしないようにとうこうしている。	今年度前期	76.1	14.8	7.4	1.8	我が家では、我が子がちこくをしないように働きかけている。	今年度前期	56.7	36.7	5.9	0.7	基本的な生活習慣が定着するように働きかけている。	今年度前期	44.4	55.6	0.0	0.0
	昨年度後期	68.4	19.7	9.5	2.3		昨年度後期	58.8	33.0	5.9	2.3		昨年度後期	15.0	75.0	10.0	0.0
そうじじかん(15ふんかん)、じぶんからすすんでそうじをしている。	今年度前期	55.4	38.9	3.9	1.8	我が家では、我が子が自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように声をかけている。	今年度前期	15.0	59.3	23.8	2.0	自分から進んでごみをひろったり、汚れているところをふいたりするように働きかけている。	今年度前期	47.6	52.4	0.0	0.0
	昨年度後期	今回、新設の設問					昨年度後期	今回、新設の設問					昨年度後期	今回、新設の設問			
じぶんのよいところがいえる。	今年度前期	38.9	37.8	15.5	7.8	我が家では、子どものよさを認め、ほめる努力をしている。	今年度前期	30.4	57.5	10.8	1.3	子どものよさを認め、ほめている。	今年度前期	42.9	57.1	0.0	0.0
	昨年度後期	30.6	39.5	20.7	9.2		昨年度後期	26.9	62.7	9.4	1.0		昨年度後期	25.0	75.0	0.0	0.0

上の表や左のグラフから、設問「我が家では、子どもが話しやすい雰囲気をつくるようにしている（保護者）」に対して、「よくできている」「だいたいできている」の回答が昨年よりも増えていることがわかります。

また、設問「子どもたちと会話する機会を積極的に設けている（教職員）」に対して、「よくできている」の回答が約 1 割増えていることがわかります。子どもたちの実態を把握し、困りや悩みを聞き出すためにも、今後も意識していきたいと考えます。

更に、ご家庭・学校で子どもたちから困りや悩みが出てきたり、それらの兆候が見られたりした場合には、保護者と教職員が連絡を取り合い、解決できるように努めていきたいと考えます。

(児童)じぶんからすすんでそうじをしている。
(保護者)自分から進んで…声掛けをしている。
(教職員)自分から進んで…働きかけている。

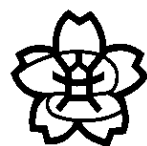


学校評価アンケートを実施した際、保護者の方から、次のようなご意見をいただきました。それは「学校評価のアンケートなのに、なぜ『我が家』なのかが分かりません。」です。このご意見の回答になる内容の記述もありました。それは「アンケートを書くことで、改めて、できていない部分がわかったり、振り返ったりしました。実現していけるようにしていきたいと思いました。」です。

アンケートを子どもたちの成長を支える保護者・教職員が共に自らの働きかけや取組を振り返る機会にすることで、子どもたちに還元していくことができればという意図で保護者の設問の主語が「我が家」になっています。ご理解のほど、よろしくお願い致します。

本設問は、今年度新たに設定しました。上の表や左のグラフから、9 割以上の子どもたちが「じぶんからすすんでそうじをしている」について肯定的な回答をしていることがわかります。

今後は、喋りながら掃除をしていないか、ごみは落ちたままになっていないかを子どもたちと共に振り返ったり、教職員も一緒に掃除をしたりすることを通して、自ら進んで自分たちのまわりを美しくする子どもたちの姿につなげていきたいと考えます。



「北白川だより」 前期臨時号

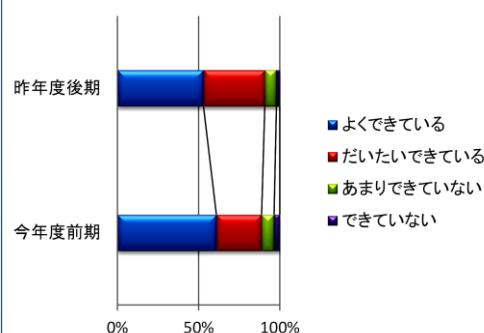
平成 28 年 9 月 30 日
京都市立北白川小学校
校長 山崎 弥生

裏面は、「学習面」について昨年度後期と比較した「表」を載せています。学習面の設問は全 5 項目ありますが、特に、「じゅぎょうがわかりやすくてのしい」と「いえでじぶんからがくしゅうをしている」について、「グラフ」にしています。
表の A は「よくできている」、B は「だいたいできている」、C は「あまりできていない」、D は「できていない」を示しています。
また、家庭学習に関して、保護者の方々に記述していただいたことを紹介しています。

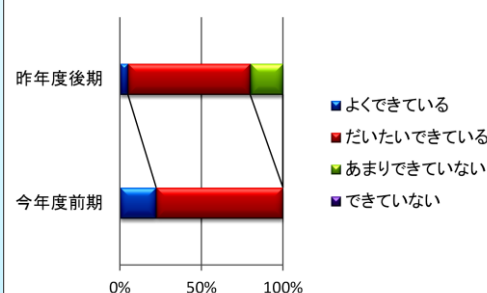
平成28年度 前期 学校評価アンケート <学習面> ※昨年度後期との比較

子どもたち		A	B	C	D	保護者		A	B	C	D	教職員		A	B	C	D
じゅぎょうがわかりやすくてのしい。	今年度前期	60.9%	27.8%	7.7%	3.5%	我が子は、授業がわかりやすいと言っている。	今年度前期	29.6%	61.6%	7.5%	1.3%	わかりやすく楽しい授業を実践している。	今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	53.0%	37.8%	7.2%	2.0%		昨年度後期	29.5%	60.7%	9.2%	0.7%		昨年度後期	5.0%	75.0%	20.0%	0.0%
じゅぎょうちゅう、すすんではびょうしている。	今年度前期	37.7%	34.5%	19.7%	8.1%	我が子は、意欲的に学習に取り組んでいる。	今年度前期	35.9%	51.6%	11.8%	0.7%	意欲的に学習に取り組むことができるように工夫している。	今年度前期	27.8%	66.7%	5.6%	0.0%
	昨年度後期	32.6%	35.9%	25.0%	6.6%		昨年度後期	27.3%	54.5%	16.2%	1.9%		昨年度後期	10.0%	80.0%	10.0%	0.0%
けいさんやかんじのちからがみにについている。	今年度前期	51.6%	37.1%	10.2%	1.1%	我が子には、読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身にについている。	今年度前期	34.5%	54.7%	9.1%	1.6%	読む・書く・計算するといった基礎的・基本的な学力が身につくように取り組んでいる。	今年度前期	22.2%	77.8%	0.0%	0.0%
	昨年度後期	47.0%	41.4%	9.5%	2.0%		昨年度後期	29.9%	58.1%	11.4%	0.6%		昨年度後期	25.0%	55.0%	20.0%	0.0%
いえでじぶんからがくしゅうをしている。	今年度前期	45.1%	34.9%	17.3%	2.8%	我が家では、家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度前期	29.6%	51.5%	17.9%	1.0%	家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。	今年度前期	11.1%	83.3%	5.6%	0.0%
	昨年度後期	46.7%	31.3%	19.1%	3.0%		昨年度後期	23.4%	54.2%	19.8%	2.6%		昨年度後期	20.0%	65.0%	10.0%	5.0%
ほんをよくよんでいる。	今年度前期	57.4%	27.5%	10.9%	4.2%	我が家では、本を読むことが定着するように働きかけている。	今年度前期	31.3%	35.2%	29.3%	4.2%	読書の習慣が定着するように働きかけている。	今年度前期	22.2%	61.1%	16.7%	0.0%
	昨年度後期	51.3%	29.6%	14.5%	4.6%		昨年度後期	26.0%	36.4%	29.2%	8.4%		昨年度後期	30.0%	55.0%	10.0%	5.0%

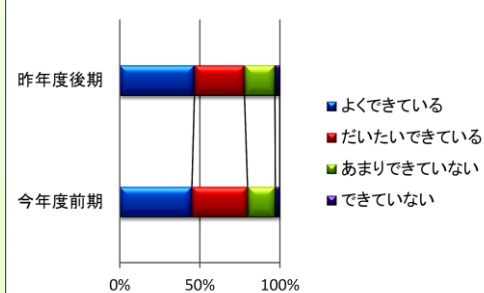
じゅぎょうがわかりやすくてのしい。



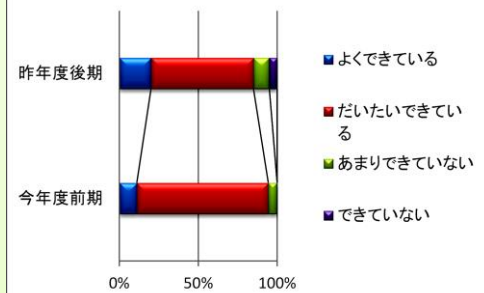
わかりやすく楽しい授業を実践している。



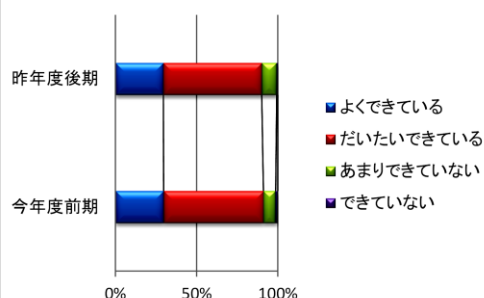
いえでじぶんからがくしゅうをしている。



家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。

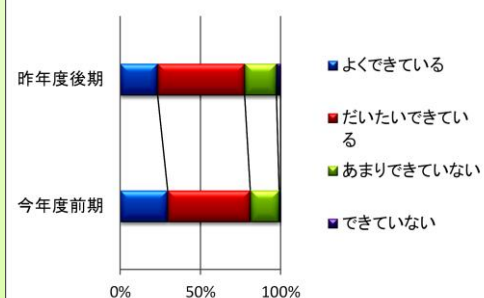


我が子は、授業がわかりやすいと言っている。



「じゅぎょうがわかりやすくてのしい」に対して、約 9 割の子どもたちが肯定的な回答をしています。これは教職員として嬉しい回答です。しかし、約 1 割の子どもたちが否定的な回答をしていることも事実です。この結果を真摯に受けとめ、日々の授業を振り返り、よりよい実践になるよう、教材研究、研鑽を続けていきたいと考えます。

家庭学習の習慣が定着するように働きかけている。



「いえでじぶんからがくしゅうをしている」に対して、約 8 割の子どもたちが肯定的な回答をしています。義務教育 9 年間を見据えたとき、自ら学習に取り組む習慣は、自己実現への大きな基盤になります。保護者と教職員の肯定的な回答も昨年と比べて増えていることがわかります。ご家庭では、どのような働きかけがされているのかを紹介します。

<家庭学習が定着するように、家庭で働きかけていること>

- ・自分で考えて、時間管理をしながら自分のやりたい事との兼ね合いを考えられるようにしています。(同意見多数) 子供だけではなく、親も大変な試練です。つい、口うるさく言いたくなってしまうです。
- ・毎日、学校の宿題以外の自由学習を継続して行っています。(同意見多数)
- ・弟や妹がいるので、できるだけ集中して短時間で終わることができるように、テーブルを分けたり、勉強中は音楽を変えたりしています。
- ・授業についていけるように、復習することを心がけています。(同意見多数) 本をたくさん読んで国語力がつくように働きかけています。
- ・毎朝 30 分程の自己学習の時間を設けています。
- ・毎日、学習することが苦手なので、カレンダーにスケジュールを立てるよう声かけしています。そして、スケジュールを見てやるよう、日々、声かけしています。
- ・無理強いするより、基礎をおさえた後は、本人の知的好奇心を大事にし、博物館や水族館などでの体験を大切にしています。
- ・時間割や宿題をきちんとすることを確認して、声かけて「もうやったよ」と子どもが言ったときは「すごい!」とほめるようにしています。
- ・後回しにしないで、先にやらなければいけないことを片付けるようにしています。(同意見多数)
- ・学校の宿題は、夕飯までに済ませるようにしています。(同意見多数)
- ・子ども自身が興味のあることに関して自分で考え、調べたり、作ったりしています。そこから更に発展するような声かけができればと思い心がけています。
- ・“できないこと”よりも“できていること”に注目し、子どもの良いところを伸ばす努力が親である自分に足りていないところだと思い、怒る前に一呼吸置くことを心がけています。
- ・折に触れ、今、何が必要かということは話し合うようにしています。自分で決めたことは守ることができるので、自分で決めさせるようにしています。

皆様からいただいた要望・感想についても教職員が共通理解を図るとともに、子どもたちの成長のために学校と保護者が連携してよりよい取組を進められますよう、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

お忙しい中、アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。今後も、よろしくお願い申し上げます。